



G holdings co.,Ltd

『ゴミをお金（資源）に変える』

— FOR A BETTER WORLD —

目次

会社概要	3
代表紹介	4
事業目的 / 強み	5
市場 / 競合	6
5つの事業分野	8
商品概要	13
プラント内図	16
主力販売先	17
ニュース / 活動実績	18
最後に	23

会社概要



会社名	G holdings 株式会社
所在地	東京都港区新橋1丁目 12-9 A-PLACE新橋駅前7F
代表取締役	漆沢祐樹
会長	平井正昭
株式資産	600株（自社株）
関連会社	エストニア法人アースコアバンク 一般社団法人 日本国際芸術文化協会

代表者紹介



- ・ G holdings株式会社 代表取締役社長
- ・ エストニア法人アースコアバンク CEO
- ・ 一般社団法人日本国際芸術文化協会 理事長
- ・ 合同会社WCC 代表

漆沢 祐樹 (Yuki Urushizawa)

19歳で起業。投資助言業の会社などいくつかの会社で役員を務め、事業譲渡やM&Aを経験。一般社団法人日本国際芸術文化協会の理事も務め、各国の大統領や大使に浮世絵外交を行い、浮世絵セミナーなどを展開しながら世界各国を周る。2018年ブロックチェーンの発祥の地エストニアで会社を設立。現在はイギリス国立大学の海外MBA candidateでもある。

2019.11 千葉テレビに外務省と出演。番組名：いまから始める SDGs (後半)

～中小企業のための新たな取り組み～ 現在はYouTubeにて視聴可能



- ・ G holdings株式会社 会長
- ・ エストニア法人アースコアバンク 会長
- ・ 一般社団法人日本国際芸術文化協会 顧問
- ・ 平井正昭研究所 所長

平井 正昭 (Masaaki Hirai)

30代の時から国際交流・浮世絵外交を始め、世界各国の大統領及び首相大使閣下との人脈を構築。近年は国際通貨連合ゲート構想を提唱し、最先端の暗号通貨ウォレット開発中。

特許、ライセンスその他、弊所管理番号:HMK- 1701PCT 世界特許:補助車輪。

カーボンナノホーン製造特許取得専用実施権

1.特許第5354592号 2.特許第 5647827号 3.特許第 5852973 著書【浮世絵外交見聞録】 iPad と「豊国」を持ち歩こう

2019 SDGs カンファレンス 国際二次電池展 東京ビックサイトにて



各国要人との繋がり



事業目的

弊社は「**自然と調和した文化を世界に創造する企業**」を目指しております。

そのための鍵は『循環型資源の確立』です。

私たちは世界で今問題となっているゴミ(有機物)を利用し、自然を汚すことなく
オイルや水を生成することが、一つのモデルになると考えています。

この技術を世界に出すことで、「**世界のゴミをお金(資源)に**」という概念が
生まれ、今注目されているSDGs17の課題解決のきっかけになると考えています。



強み

弊社の強みは2つあります。

1つ目は現在開発中の電気がない場所でも太陽光のみでオイルと水の生成が可能なコンテナ機です。これにより世界の共通課題である
ゴミ問題を大きく変革できると考えており、水の生成では水不足問題も改善可能です。

また、補足としてインフラが整っている日本でも災害時に**電気がない場所で、太陽光のみでゴミを利用してオイルと水の生成できる**
ことは多くの問題を解決できると考えます。

2つ目は世界が注目するSDGsとESG投資の広がりです。SDGsの取り組みが注目される中でESG投資に関しても再注目されているので
弊社の事業が拡大し成長することはESG投資家の意識をより高める企業であると確信しております。

市場ターゲット

弊社の市場はゴミ問題を抱える発展途上国や先進国などすべての国だと考えています。

世界では海に漂流するゴミだけで1500億万トンあり、これは今の地球の人口で計算すると一人当たり20キロの量であり、それをゴミとして全世界の人に拾わせることは大変難しいと考えます。

しかし、その20キロが再資源 = お金になるとどうでしょうか？ 日々出すゴミですらそれは可能になるのです。

PEST 分析

Political 政治的環境要因	<ul style="list-style-type: none">・プラスチックゴミの世界的削減・国連によるSDGsアジェンダ
Economic 経済的環境要因	<ul style="list-style-type: none">・国として大企業へのゴミ処理規制・大手企業によるプラスチックストローの廃止・各国でのプラスチック汚染企業ランキング発表
Social 社会的環境要因	<ul style="list-style-type: none">・東京オリンピック、パラリンピック・大阪万博・2030までのSDGsアジェンダ達成
Technological 技術的環境要因	<ul style="list-style-type: none">・安倍総理による生分解性プラスチック技術の発表・各国からのゴミ問題解決の案を募集

競合との違い

現在、弊社が調査した企業の中に同業はいませんが、一つ一つの技術では数社の企業が存在します。弊社が目指す市場は世界のゴミの量であり、そのゴミは日々生まれています。その市場を考えると弊社のモデルで競合が生まれることは世界のゴミ問題をより早く解決することができる良い流れだと考えています。しかし、弊社の差別化があるとするとそれはカンファレンスの実績や海外大使や大統領との直接的な繋がりがすでにあるということだと思っています。



5つの事業分野



ナノカーボン
生成



飲料水生成



電力生成



燃料オイル生成



ゴミ処理機研究

事業内容の詳細

ナノカーボンの生成：

ナノカーボンの生成ではカーボンナノチューブという素材は幅広く世の中で使われていますが、弊社の素材はそのナノカーボンの種類の一つ、カーボンナノホーンという素材を生成しています。

特徴としては筒状になっているチューブとは違い、ホーンは円錐形に丸めた構造をしています。

そのため、その形状を活かし円錐形の中に他の素材や物質をいれることで、新たな医療や科学の発展に繋がると言われています。



事業内容の詳細

飲料水の生成：

飲料水の生成では空気中にある湿度を弊社独自の方法で取り込み、温度差をすることで効率よく飲料水を生み出すことができます。

その構造は地球が雨を降らす方法とよく似ています。

また特殊な生成方法を行なっているため水が腐りにくいという特徴があるので、今後はメンテナンスフリーでの水生成機の開発を目指します。



事業内容の詳細

燃料オイルの生成：

燃料オイルの生成ではゴミであるペットボトルやビニール袋などのプラスチックを原料であるオイルに戻すことが可能です。これは固体を気体にし、冷却することで液体に戻すといった単純な仕組みではありますが、弊社独自の技術でそれを効率化し、ほぼ100%の密度で固体（ペットボトルなど）を液体（オイル）にすることが可能です。



事業内容の詳細

ゴミ処理機の研究：

ゴミ処理機の開発では二酸化炭素を出す熱処理方法とは違い、独自の技術でイオン分解処理をすることで二酸化炭素を出さずに有機物を処理することが可能です。

また、イオン分解処理をする際に機械の中では1000℃に近い熱を出すため、その熱エネルギーの再利用も現在研究中です。

感染性医療廃棄物



◎滅菌・殺菌効果
注射針・おむつ等も直接
投入可能

SR / ASR



シュレッダーダスト、廃タイヤ
等も可能。ワイヤー等金属
部分のみ残る

廃プラ



ビニル、発泡スチロール等も
可能

野菜くず



◎高含水率
生ごみ・発酵かす、内臓、貝
殻 等も可能

下水汚泥



◎高含水/匂い
し尿・汚泥、焼却灰も可能

糞尿



◎高含水/滅菌・殺菌/匂い
鶏糞・牛糞・豚糞も可能



商品概要

これらを組み合わせた装置を現在開発中です。（特許申請準備中）これにより、電力がない場所でも太陽光のみで、有機物のゴミを利用し、オイルと飲料水の生成をすることが可能です。つまり、プラントの特徴は3つあります。

- ①有機物ゴミの **イオン分解処理**
- ②廃プラゴミからの **オイル生成**
- ③空気中の湿度から **飲料水生成**

HARTsで生成した燃料オイル（重油）は売却可能

②の廃プラから生成した燃料オイル（重油）は、弊社の商流にて買取することも可能で、価格はWITをベースとした金額で変動しますが、安定した収益を生み出すことができます。（例：1日1000㍓生成し売却した場合は年間2500万円以上の収益）

それが私たちのSDGs事業

世界のゴミをお金（資源）に変える商品

HARTs = ハーツ

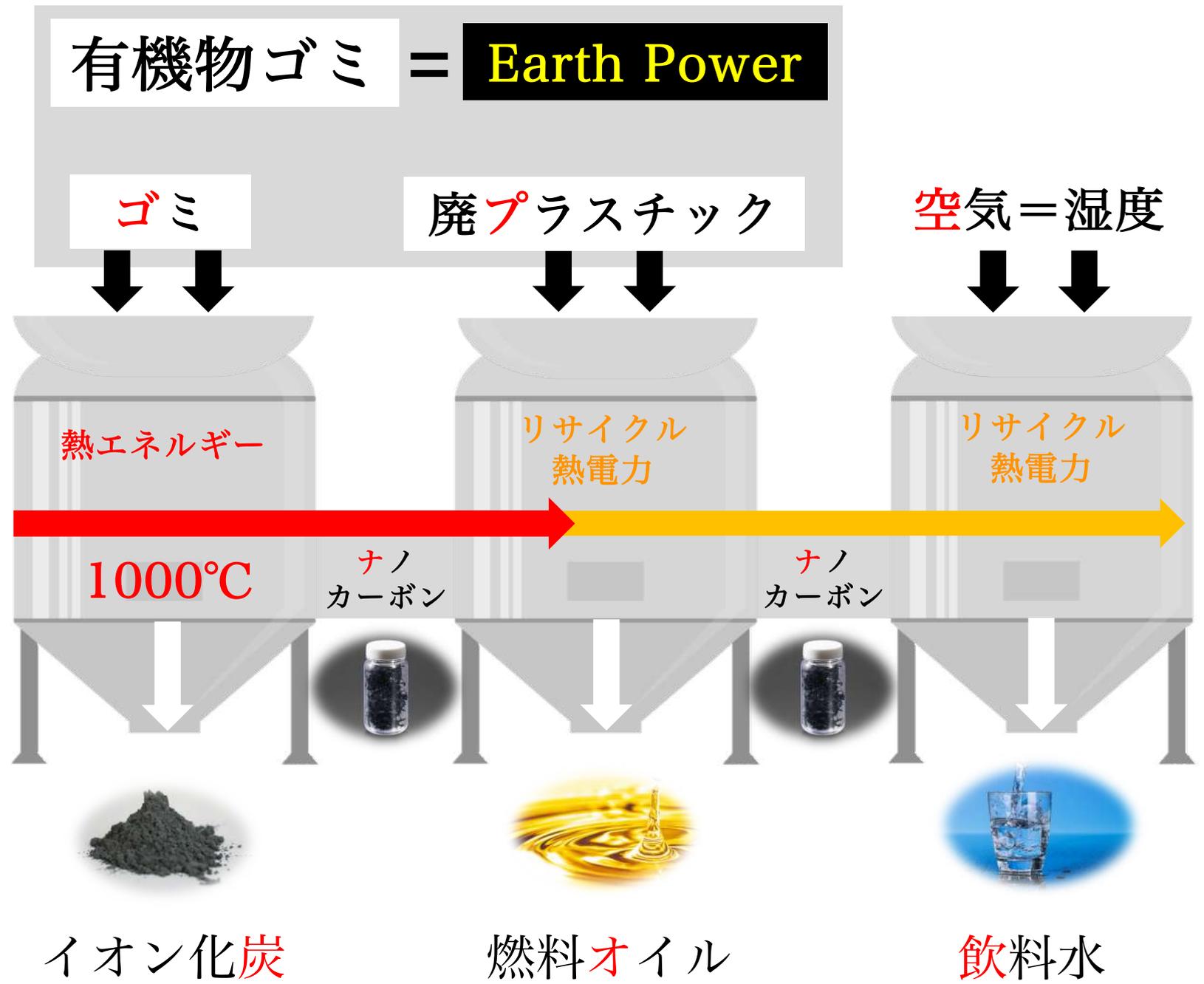
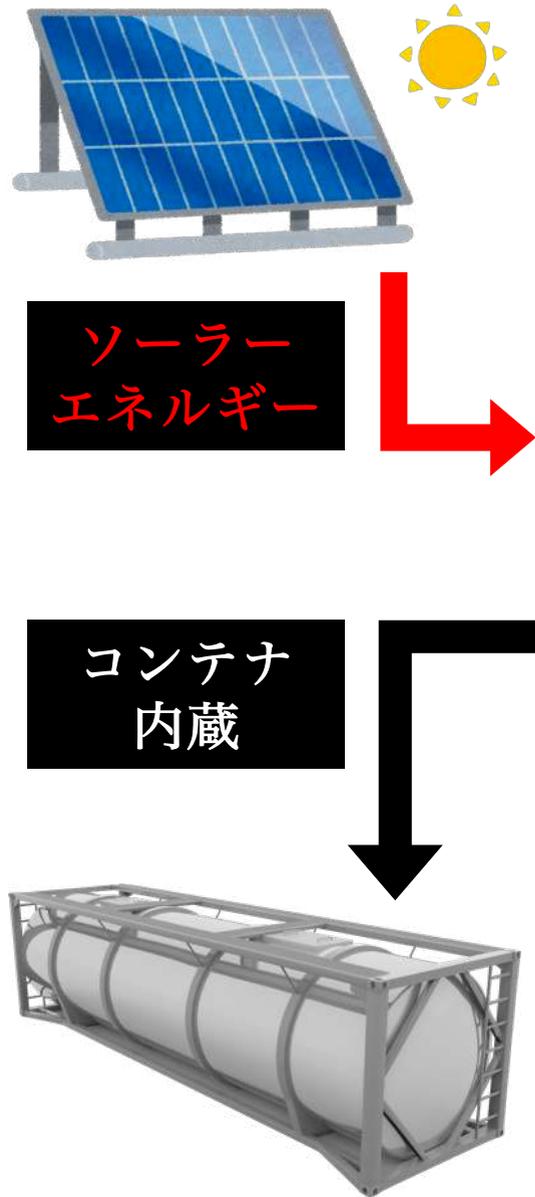
※HARTsの由来はゴミの英語単語『TRASH』のスペルを変えて作った単語です。



コンテナ型
プラント
20ft × 3台



プラント内図



SDGsニュース番組での発表

放送日：11月9日(土)09:30~10:00 テレビ放送

出演者：外務省 国際協力局 地球規模課題総括課 課長補佐 春田 博己様

Gホールディングス株式会社 代表取締役 漆沢 祐樹 様

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 企画・広報グループ 高橋 文彦 様

司会者：田野辺実鈴 様(元TOKYOMX、フリーアナウンサー)

『いまから始める SDGs ～中小企業のための新たな取り組み～』

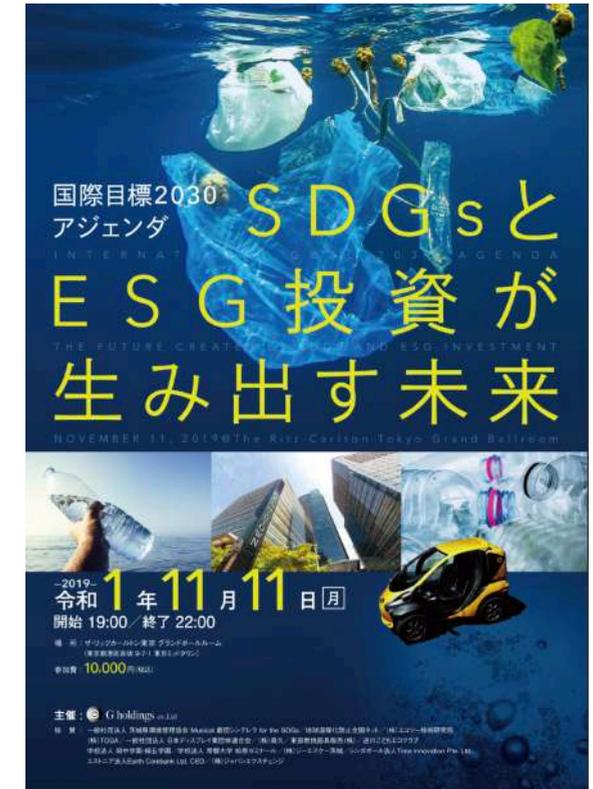
※YouTubeでも現在公開中 <https://youtu.be/7fQZhzrcr8>



カンファレンスの主催

「SDGsとESG投資が生み出す未来」交流会の報告 https://youtu.be/U3fw_ucCUS8

令和元年 11月 11日 リッツ・カールトン東京 で弊社主催のSDGsカンファレンス開催しました。会場には国内外から 250人以上の来場者が参列し、25社以上の協賛に外務省や環境省、各国の大使館関係者など10カ国以上の方々に参加いただきました。



SDGsとESG投資が生み出す未来2019カンファレンス

－協賛企業－

一般社団法人 茨城県環境管理協会

Musical 劇団シンデレラ for the SDGs

地球温暖化防止全国ネット

(株)エコツアー技術研究所

(株)TOGA

一般社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会

逆川こどもエコクラブ

(株)リビング館ホンダ

学校法人 田中学園・緑丘学園

学校法人 常磐大学 松原ゼミナール

東部燃焼器具販売(株)

(株)ジーエスケー茨城

(株)ジャパンエクステンジ

(株)エヌティーアイ

(株)エストステップ

(有)アークネット

(株)東海クリーン

(株)チクマ

(株)森久

ふくろうテラス

大洋土づくりセンター

ホテルネットワークmito

地球温暖化防止活動推進員econet

NPO法人 ふじの里山くらぶ

フィリップモリスジャパン合同会社

(株)ジェイフィールド

新電力コム(株)

合計28社

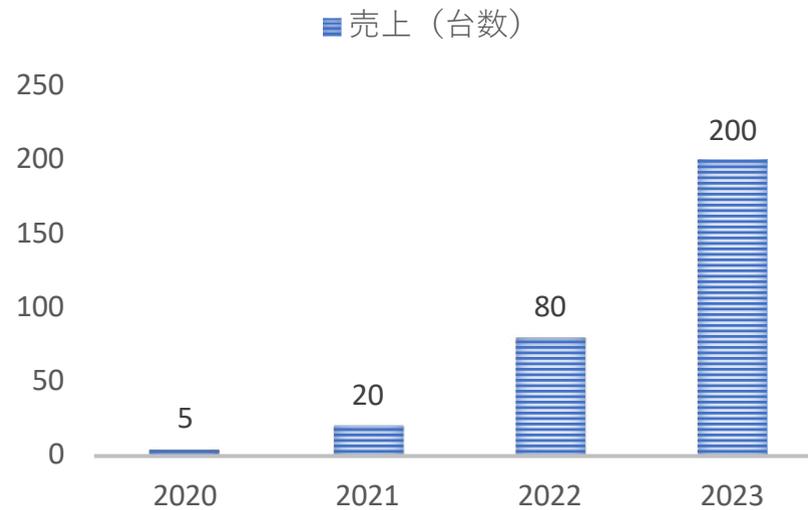
【その他、参加組織や大使館など】
外務省、環境省、インド、ボリビア
ネパール、フィリピン、モンゴル
中国、韓国、ニウエ、ブラジル

主力販売先

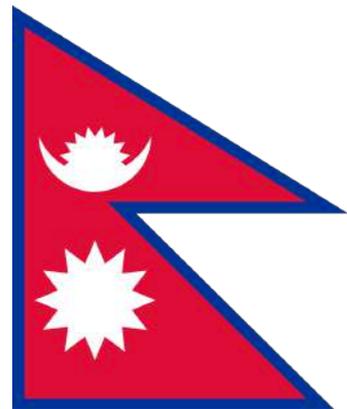


フィリピン
(ダバオ市)

売上 (台数)

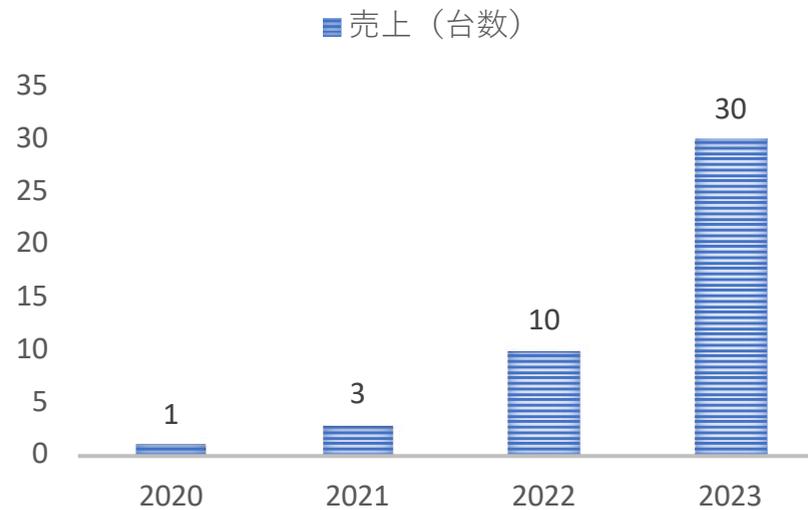


市場規模



ネパール
(ポカラ市)

売上 (台数)



外交実績

(Gホールディングス株式会社 関連企業：一般社団法人日本国際芸術文化協会)



フィリピン ロドリゴ・ドゥテルテ大統領



ネパール マダブ・クマールネパール元首相



トルコ共和国 ギュル大統領



インド ベヘラ1等書記官



インド・ガンジーハウス清掃記念

外交実績

(Gホールディングス株式会社 関連企業：一般社団法人日本国際芸術文化協会)



モーリタニアイスラム共和国 アブダライ大統領



ブータン王国 ジグミティンレイ首相



ブータン王国 大臣



イラク共和国 大使



パキスタンイスラム共和国 大使



インド クマール参事官



コンゴ民主共和国 大使



モーリタニアイスラム共和国 大使



エジプト



ルーマニア



ラオス



台湾



タンザニア



アフガニスタン



ニュージーランド



ウガンダ



ケニア



その他、約25カ国



パレスチナ



バングラディシュ



イスラエル



セネガル



チュニジア



モンゴル



カンボジア



ハイチ

収益寄付

Gホールディングスは事業収益の1%を慈善事業団体に寄付致します



最後に

私たちGホールディングス株式会社は、「**限りある資源を限りなき資源、そして世界を緩やかな経済に**」をモットーに、“地球のゴミをお金（資源）に変える”というアースパワープロジェクトを遂行しています。

これは人間が生み出したゴミを利用し、水や電気、オイル（燃料）そして食料を高循環型エネルギーで生み出すための仕組みです。日本は世界的にも誇れるほど、インフラが整っている国ではありますが、災害時や避難時などの水や電気の確保はまだまだ不十分だと感じております。

そして、世界を見ればゴミによる汚染や環境破壊、水不足や食料不足の問題を抱える国は多くあります。

そうした国の子供たちの笑顔を一つでも増やせるように、私たちは企業として一人の人間としても成長し、地球に貢献できる存在を目指します。

THANK YOU



<https://g-holdings.info/>



G holdings co.,Ltd